

～ 11年目の始まりは 黄葉の舞う森の中 ～



自然の樹木が人為的改変(道路工事2009.4中断)を超えて復元する様子が見られる区域です。

稲田口
ギャップの
10年比較

2019.12.4

2010.5.9 相生山の四季を歩く会 #6

森の仲間の意見が
中日新聞投稿欄に
掲載されました



中日'19.11.24

(第3種郵便物認可)

発言

相生山緑地の事物を具体的に伝えながら、むずかしい言葉はほとんど使っていないのに、大事な「生態系」や「食物連鎖」を説明してくれています。私たちの主張の『このままの自然を大事に!』が結語になっています。

歴史と自然 富む相生山

松浦 久子 主婦

(名古屋市緑区) 65歳

名古屋市東部にある相生山周辺に散歩によく出掛ける。

はどんな宝石よりも私には輝いて見える。

湿地のように水がたまるところもあれば、常に水の流れがあるところもある。ヤブコウジやセンリョウ、クチナシなどの植物が四季折々に花や実をつけるのでそこそ毎日通っても飽きない。夏にきれいな花を咲かせ、秋に青い実ができるクサギの花はその葉に独特なおいがあるため嫌いだと言ふ人もいるが、赤紫のがくと青い実の取り合わせ

さまざまな種類のチョウやハチをはじめ鳥も飛んできて植生を豊かなものにしてきている。「爆弾穴」と呼ばれる七十年前の太平洋戦争中の負の遺産もあり、歴史的にも貴重な場所になっている。バスや地下鉄を利用すると停留所や駅から徒歩数分とアクセスしやすい。都会の中の身近な自然でもある相生山一帯は孫やその先の世代までこのままのかたちでせひ残していきたい。私はそう考えている。



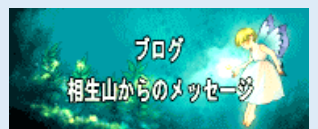
連絡先(古川)

tell/fax:052-821-6463

ケイタイ:080-5124-6463

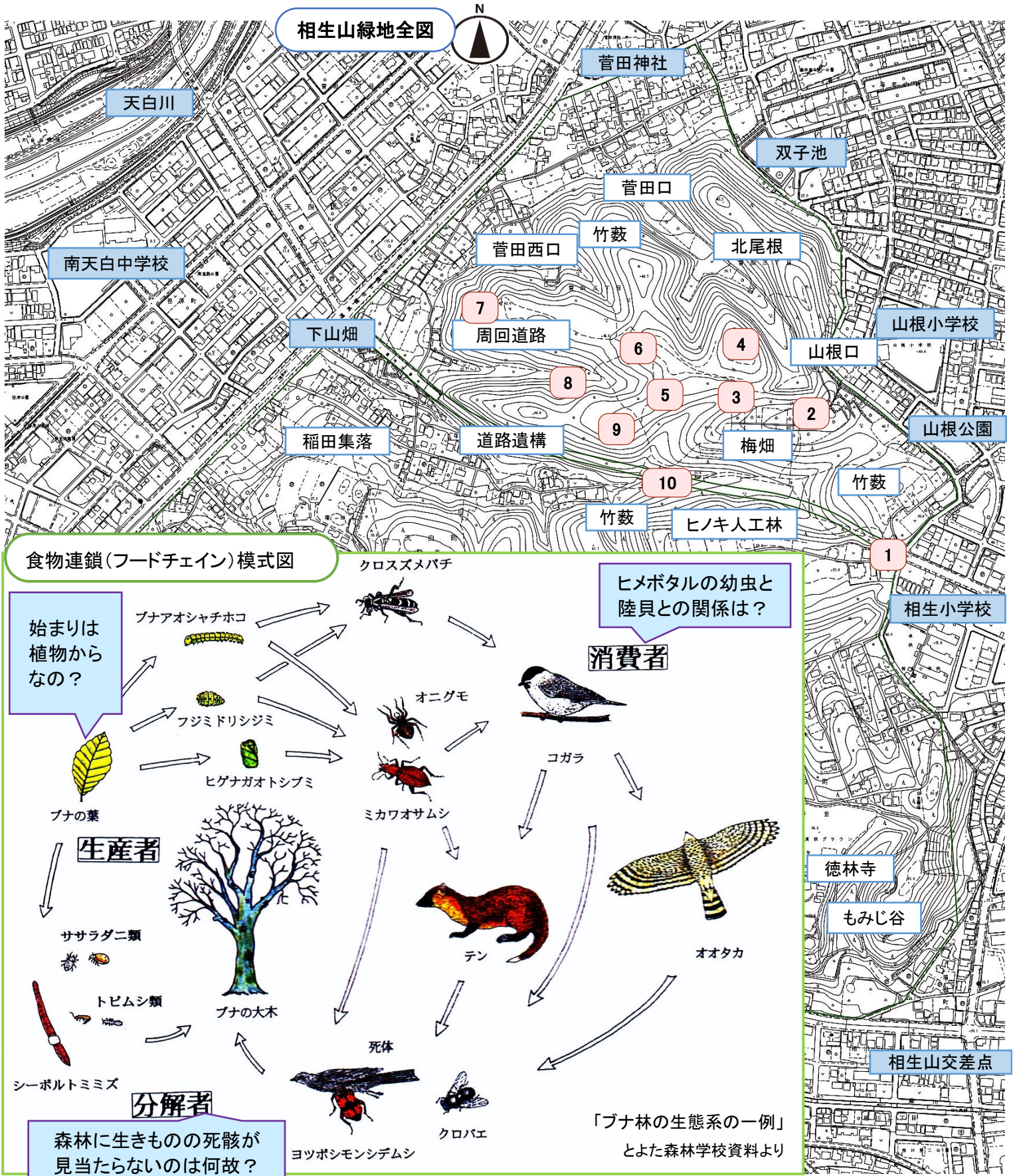
e-mail: viva_forest@yahoo.co.jp

ホームページ: ラブリーアース → 検索



2020年のスタートは
1月12日(日) 9:30~

シンボルコナラの 大きな幹の根元から
菅田の里の社へと 森のなかまが集います



コース通過点	ポイント	メモ	コース通過点	ポイント	メモ
1 相生口	11年目の始まり	ハマツク, ツルグミ, アオハダ, ツクハネウツギ	6 ターミナル	タカは飛ぶか?	アオハダ, ハギ, スミシヤンホ, シイ
2 シンボルコナラ	コナラの黄葉、褐葉	アカカシ, エキ, アスキナシ	7 都心展望	紅葉のしくみ	サカキ, ノゴ, イノキ, ミヤマカマズミ
3 森の広場	フードチェーン	コナラの彩り	8 行き止まり標識	コナラ・タカノツメの黄葉	タノツメ
4 低木の「庭」	果実&冬芽	ウルシ属, ヒイギ, ヤマコバシ, ウスギ	9 コナラの谷	コナラの黄葉、褐葉	コナラの彩り、落葉
5 ガズミ道	コナラ・タカノツメの黄葉	ヤブコウジ, ケナシ	10 稲田口ギャップ	道路と植生遷移10年	フノハナワラビ, タノツメ, ヤマハゼ